

K.K (平成 27 年 4 月後期研修開始 現消化器内科シニアレジデント)

当院で 2 年間の初期研修を終え、現在消化器内科と ER・総合診療センター兼任として非常に充実した後期研修生活を送っております。初期研修先として大阪警察病院を選んだ理由は充実した救急診療体制と病院の雰囲気の良さにはありましたが、2 年間働いてみてもその点に関しては全く考えに変わりはありませんし、尊敬できる上司や同僚にも恵まれ、幸せな医者生活を送っています。大阪警察病院は消化器の面では府内でも有数の内視鏡件数を誇っています。内科としては同期が自分だけということもあって、いろいろな手技を行える機会に恵まれ、非常に充実した内科医としての生活を送っています。また ER・総合診療センターは初期研修医と後期研修医 3 年目を中心に運営していますが、普段の外来ではあまり体験できないような救急患者の対応も行い、縫合や時には挿管などの様々な救急手技をする機会もあり、日々研鑽を積んでいるところです。大阪警察病院の方針として後期研修の最初の 1 年は ER 診療に携わり、**generalist** として一通りの診療ができるようなプログラムが組まれています。もちろん専門性のみを追求したい後期研修医にとっては不本意かもしれませんが、今後高齢化社会が進むなかで **general** な診療ができるということは非常に強みになると思います。

医師として 3 年目となり、初期研修医時代からはるかに責任も重大なものとなりました。大阪警察病院は、悩んだり迷ったりするときにも、周囲の先生方やコメディカルの方がしっかりと支えてくれる、そんな雰囲気のいい、活発な病院です。尊敬できる年の近い先輩の先生方も多く、忙しいとはいえ、時に飲み交わしたりして親交を深めることもあります。このコメントをご覧になった方で少しでも興味を持っていただけたら、ぜひ一度見学に来てください。共に働き、学び、悩み、飲み交わす日を楽しみにしております。

T.T (平成 27 年 4 月後期研修開始 現整形外科シニアレジデント)

私は他院にて初期研修を 2 年間行い、平成 27 年 4 月より整形外科後期研修医として大阪警察病院にて勤務を始めました。まず、宿日直に関してですが、3 年目は何科の後期研修医であれ、ER の相談役として 1 年間 ER 当直に入ることになります。自分の日ごろの業務とはあまり関係のない内科的な疾患も診ることができ、とても刺激になります。また、症例数も多く、非常に勉強になります。各科の先生方が宿当直帯も病院におられるので、非常に恵まれた環境で当直が出来ると感じています。

整形外科自体も多くの同期に恵まれ、また、とても熱心な先生方の指導のもと日々診療させていただいています。まだ入職してから 1 ヶ月しか経っておらず、わからない事ばかりですが、外来診療から手術まで毎日丁寧に指導いただいています。症例も、外傷から変性疾患まで幅広くカバーできるのも当院の特徴ではないかと思えます。病院全体としても非常に活気に満ちており、楽しい病院だと早くも感じています。

もし大阪警察病院に興味がありましたら、一度見学に来てください。お待ちしております。

**K.E**（平成 26 年 3 月初期研修修了 現消化器内科シニアレジデント）

2 年間の初期研修を他院で終了し、後期研修より消化器内科レジデントとして当院に赴任させていただきました。

私が大阪警察病院での後期研修を選んだ理由についていくつかお話したいと思います。

大阪警察病院の特徴として、まず研修医・レジデントを中心に診療が行われる ER・総合診療センターが挙げられます。当院 ER では重症から軽症まであらゆる患者さんが受診され、その初期対応を初期研修医、後期研修医が中心になって行います。

私は初期研修は他病院にて行っていたのですが、当院は近隣病院の研修医の救急研修の受け入れを行っており、私も 1 年目の 1 か月間当院にて ER 研修を行わせていただきました。そこで感じたことは大阪警察病院は非常に症例数が豊富であること、上級医の先生方も熱心で教育的な先生が多く、わからないことはコンサルトしやすい雰囲気があること、コメディカルの方々も非常に協力的でフレンドリーな方々が多く、研修医にとって非常に働きやすい環境があることでした。1 か月という短い期間ではありましたが、警察病院での ER 研修は自分を成長させてくれたという思いがあり、ぜひ後期研修を症例が豊富で若いドクターを育てようという雰囲気のある警察病院で行いたいと考えるようになりました。

4 月より当院にて消化器内科として後期研修を開始しましたが、ER を受診される患者さんの診察をさせていただくことで消化器疾患のみならず、内科全体に診断・治療を行う能力や、加齢に伴う問題や社会的問題を抱えた患者さんなどの診療を行い医学的、社会的に最適な選択を考えることで、専門家としての道を歩き始めた私たちにとって医師としての総合力を鍛えるという意味で非常に重要なことであると考えています。また専門研修においても非常に症例が豊富で胃カメラ、エコーなどの検査も上級医の先生方に熱心に指導していただけますし、病棟の患者さんの治療で悩んだ時も相談しやすい環境にあるため、非常に充実した研修生活を送っています。

若手医師にとって非常に充実した環境にある当院とともに、切磋琢磨できる日を楽しみにしております。

**T.K**（平成 26 年 3 月初期研修修了 現整形外科シニアレジデント）

初期研修 2 年を箕面市立病院で行い、平成 26 年 4 月より整形外科後期研修医として大阪警察病院で勤務を始めました。まず当直に関してですが、後期研修医 1 年目は R3 と呼ばれ（初期研修医 1 年目、2 年目がそれぞれ R1、R2）、R3 当直という特殊な立場に置かれます。初期診療は基本的に R1、R2 で行われ、R3 は相談役となります。もちろん受診者が多い時には R3 が初期診療をすることもあります。ただ、院内に各診療科の先生方が当直業務をさ

れておりコンサルトをさせて頂くことも多く、バックアップ体制が整っており安心して R3 当直を行うことが出来ます。そして、R3 には日中 ER 業務のみに従事する期間が 2 週間～与えられており、3 次救急を掲げる大阪警察病院の ER を実感することができます。日中もバックアップ体制は整っており、軽症から重症の患者さんまで幅広い、専門外の症例を体験することができます。

病院全体として活気のある雰囲気を持っており、自ずとアクティブな医師が集まってきているように感じます。お互い高め合っていける環境は準備されているため、共にこの場所で成長していきましょう。

**K.S** (平成 26 年 3 月初期研修修了 現 ER・総合診療センターシニアレジデント)

私は当院で 2 年間の初期研修を終え、現在 ER・総合診療センターで後期研修を行っています。初期研修では、1 次から 3 次救急まで全ての初期対応について学びたいと思い、当院を研修先として選びました。後期研修でも ER を選んだ理由は、引き続き初期対応を行いたいという思いと専門家にとらわれない広い知識と考える力を養いたいと思ったからです。日常はスペシャリティとして呼吸器内科でも診療を行っています。急性呼吸不全に対する集中治療や肺癌患者さんの緩和医療まで、急性期から慢性期まであらゆる患者のケアを主治医として責任を持って行っています。もちろん ER を受診した不明熱の患者さんの入院加療も行います。ER は研修医主体の診療科で若手が多くとてもいい雰囲気です。generalist が求められる時代でこれからもっと盛り上がっていく領域だと思います。このコメントを御覧になられた医学生や先生方は是非 1 度見学に来て下さい。お待ちしております。